

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
離島・へき地医療学講座
平成 26 年度業績報告

離島・へき地医療学講座
教授 前田隆浩
助教 山梨啓友
助教 小屋松淳

平成 16 年 5 月 1 日、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科に長崎県と五島市による寄附講座「離島・へき地医療学講座」を開講し、離島での活動拠点として長崎県五島中央病院内に「離島医療研究所」を設置した。この研究所を活動拠点として、主に地域医療教育と離島医療に関する調査・研究を行い、離島・へき地医療向上への貢献を目指す。

【教育活動の領域】

1. 「離島医療・保健実習」の実施

本県の特色である離島をフィールドとした「離島医療・保健実習」を、長崎大学医学部医学科 5 年次生の必修カリキュラムである臨床実習の一環として平成 16 年度より導入した。この実習は、社会医学実習と総合診療科実習の一部を統合して再構築したカリキュラムで、長崎大学医学部 5 年生全員が 15 グループに分かれ、各々のグループが長崎県離島に滞在し、5 日間にわたって保健・医療・福祉について体験実習を行う地域包括ケアに関する教育プログラムである。離島・へき地医療学講座が全体的なマネジメントを行い、総合診療科、公衆衛生学教室と共同で担当する。

平成 16 年度は五島市の施設のみで担当していたが、平成 17 年度には新たに新上五島町と小値賀町の施設に参加してもらい、加えて平成 19 年度からは対馬市の施設が参加している。平成 26 年度は平成 26 年 6 月 9 日から平成 27 年 2 月 27 日にかけて、対馬コース 12 名、上五島コース 34 名、下五島コース 56 名の合計名の医学部 5 年生に対して離島医療・保健実習を実施した。

【「離島医療・保健実習」の大学担当と教育担当施設及び代表者】

1) 担当

講座・教室名	代表者名
総合診療科	大園 恵幸
公衆衛生学	青柳 潔
離島・へき地医療学講座	前田 隆浩

薬学部薬学科 病院薬学	塚元 和弘
歯学部歯学科 卒前・卒後歯学臨床教育	角 忠輝
歯学部口腔保健学	齋藤 俊行

2) 教育担当施設

施設名	代表者名
長崎県五島中央病院	神田 哲郎
長崎県富江病院	津野 至孝
長崎県奈留病院	津田 俊彦
聖マリア病院	梅木 公子
長崎県上五島病院	八坂 貴宏
長崎県有川医療センター	八坂 貴宏
長崎県中対馬病院	村瀬 邦彦
長崎県対馬いづはら病院	川上 眞寿弘
医療法人 山内診療所	宮崎 昭行
五島市国民健康保険三井楽診療所	松園 和久
五島市国民健康保険玉之浦診療所	山下 貴知男
五島市国民健康保険伊福貴診療所	木村 雄二
医療法人 みどりが丘クリニック	神野浦 潔
五島市国民健康保険久賀診療所	甲斐 有司
小値賀町国民健康保険診療所	田中 敏己
豊玉診療所	升木 行雄
長崎県五島保健所	後藤 尚
長崎県上五島保健所	後藤 尚
長崎県対馬保健所	藤田 利枝
五島市健康政策課（保健センター）	吉谷 清光
五島市長寿介護課	川端 久章
新上五島町健康保険課	富永 重利
対馬市福祉保健部 健康保健課	財部 恭子
対馬市社会福祉協議会	木寺 和福
五島市社会福祉協議会	野原 寅男
聖マリアの園 久賀島デイサービスセンター	中村 リリ子
新上五島町社会福祉協議会	森藤 敏幸
幸生会 特別養護老人ホーム“わたづみ”	津屋 秀則
訪問看護ステーション“鑑瀬”	塩塚 和子
訪問看護ステーション“福江”	柿森 悦子

あすか福祉会 あすか訪問看護ステーション	渡邊 徹夫
小規模通所授産施設 “ふれあい”	片山 伸子
地域活動支援センター “きらり”	築城 洋二
地域活動所 “いろえんぴつの家”	原 節子
介護老人保健施設 つくしの里	平本 高嗣
高齢者総合ケアセンター只狩荘	山田 峰雄
サポートセンター ゆうなぎ	入江 善充
福江薬局濠前店	菅原 正典
あおぞら薬局	岩元 美和子
ニック調剤薬局ごとう店	井上 広平
あおかた調剤薬局	山中 國暉
鈴木薬局	鈴木 慎太郎
そうごう薬局 上五島店	山上 隆
ありかわ調剤薬局	下辺 寛弥
壮快堂薬局	坂谷 和芳
ゆうとく薬局	平山 匡彦
あい調剤薬局 南町店	田中 秀和
富江薬局	山本 敬子
桜町調剤薬局 三井薬店	山口 建
こまき歯科医院	小牧 憲明
近藤歯科医院	近藤 勝則
よこやま歯科医院	横山 顕一
岐宿町国保歯科診療所	溝口 勝令
伊福貴歯科診療所	井川 一成
五島医師会	浦 繁郎

3. 高次臨床実習

長崎大学では5年次の臨床実習に続く6年生の臨床実習として「高次臨床実習」を平成16年度より開始した。これは学生自らが再度実習を受けたい診療科を選択し、長期間（4～5週間）にわたってハイレベルな臨床実習を行うもので、平成17年度から上五島病院、五島中央病院で、また、平成22年度からは対馬いづはら病院と中対馬病院においても実施できるよう整備した。平成26度には五島中央病院で2名、上五島病院で2名、計4名の6年生に対して高次臨床実習を行った。

	内科 (系)	外科 (一般)	放射線科	合計 (人)
五島中央病院	1	1	0	2
上五島病院	1	1	0	2
対馬いづはら病院	0	0	0	0
合 計 (人)	2	2	0	4

4. 他大学医学生の実習受け入れ

本学が整備した地域医療人教育フィールド（五島市、対馬市）において、他大学からの医学実習生を平成 18 年度より受け入れているが、平成 26 年度は下記表の通り 18 名の医学生に対して長崎県離島での地域医療教育を行った。

福岡大学	15
東京慈恵会医科大学	1
徳島大学	2
合 計	18

（地域医療セミナー IN GOTO を除く）

5. 他学部生の実習受け入れ

また、平成 19 年度より長崎大学薬学部生を対象とした「離島医療・福祉・保健実習」を開始し、平成 20 年度から長崎大学歯学部生を対象とした「離島歯科医療・地域保健福祉実習」を開始した。平成 26 度は、薬学部生 24 名（6 年生）、歯学部生 18 名（5 年生）を受け入れ、主に保健と福祉分野において医学部 5 年生との共修を行った。

6. 医学ゼミ「第 2 回長崎地域医療セミナー IN GOTO」の開催

長崎大学医学部医学科に地域枠および地域特別枠で入学した学生に対して、医療を通じての早期からの地域との関わり合いを提供し、地域医療の発展に寄与し、離島やへき地での医療に貢献できる医療人の育成を目指して開始したセミナーである。

(1) 場所：五島市富江町公民館（長崎県五島市富江町）

民宿「としまる」（長崎県五島市富江町）

日時：平成 26 年 8 月 22 日（金）～8 月 24 日（日）（2 泊 3 日）

参加者：36 名（長崎大学 24 名、長崎純心大学 7 名、大阪歯科大学 1 名、

昭和大学 1 名、東京医科大学 1 名、福井大学 1 名、山口大学 1 名）

内容：(1) 講義・実習 (2) 特別講演 (3) ワークショップ

(4) 五島市長表敬訪問 (5) 病院見学

1. 講義・実習

「二次離島での医療について」（中野 文耕 五島市伊福貴診療所）

「黄島出張診療所実習」（北川 郁子 五島市黄島出張診療所）

- 「地域医療学入門」(小屋松 淳 長崎大学 離島・へき地医療学講座)
- 「あなたと家庭医療」(佐野 潔 徳洲会グループ 家庭医療部)
- 「救急現場での対応」(山下 和範 長崎大学病院 救命救急センター)
- 「地域包括ケアとは」(潮谷 有二 長崎純心大学 医療・福祉連携センター)

(2) 特別講演

- 「いのちを受けとめるまちづくり～在宅ホスピスのすすめ～」
(二ノ坂 保喜 このさかクリニック)

(3) ワークショップ

- 「地域で必要とされる包括ケアとは～医療・保健・福祉の連携～」

(4) 野口市太郎五島市長表敬訪問

(5) 病院見学：五島市伊福貴診療所、五島市黄島出張診療所

【主催】

長崎大学、長崎地域医療セミナー実行委員会

【共催】

五島市、五島医師会、長崎県五島中央病院、長崎純心大学医療・福祉連携センター

【協力施設および団体】

長崎県医師会、長崎医学同窓会、このさかクリニック、五島市伊福貴診療所、五島市黄島出張診療所、長崎県富江病院、徳洲会グループ、お告げのマリア修道会

聖マリア病院、五島市消防本部、富江バラモン会、NPO 法人 島の医療とくらしを考える会、海上タクシー五島、民宿としまる、山下医科器械株式会社五島営業所

【指導者一覧 (50 音順)】

氏 名	所 属・役 職
青柳 潔	長崎大学公衆衛生学分野 教授
出口 法隆	五島市 健康政策課 課長
浦 繁郎	五島医師会 会長
奥村 あすか	長崎純心大学 医療・福祉連携センター 助教
神田 哲郎	長崎県五島中央病院 院長
門田 耕一郎	長崎大学 地域医療学分野 助教
北川 郁子	五島市黄島出張診療所 看護師
小屋松 淳	長崎大学 離島・へき地医療学講座 助教

佐野 潔	徳洲会グループ 地域家庭医療センター長
潮谷 有二	長崎純心大学 医療・福祉連携センター センター長
清水 悠路	長崎大学 地域医療学分野 助教
永田 康浩	長崎大学 地域包括ケア教育センター 教授
永友 貴之	長崎純心大学 入試広報課 課長
中野 文耕	五島市伊福貴診療所 所長
ニノ坂 保喜	医療法人 にのさかクリニック 院長
浜脇 清市	五島医師会 事務局長
前田 隆浩	長崎大学 地域医療学分野 教授
増田 眞理子	五島市黄島出張診療所 元看護師
宮野 澄男	長崎純心大学 医療・福祉連携センター 准教授
安武 亨	長崎大学医学部医学科 先端医育支援センター 教授
山下 和範	長崎大学病院 救命救急センター 准教授
山梨 啓友	長崎大学 離島・へき地医療学講座 助教
吉田 麻衣	長崎純心大学 医療・福祉連携センター 助教

【協力者一覧(50音順)】

氏 名	所 属・役 職
川上 弥久美	五島市 伊福町自治会長
相良 尚彦	五島市 市議会議員
野口 市太郎	五島市 市長
馬場寄 誠	五島市 市民
和田 嘉毅	NPO 法人 島の医療とくらしを考える会 理事長

【学生実行委員一覧(50音順)】

氏 名	所 属・役 職
荒倉 由佳	長崎大学 医学部 医学科 2年生 学生実行委員
上原 祐規	長崎大学 医学部 医学科 3年生 学生実行委員長
内田 直子	長崎大学 医学部 医学科 1年生 学生実行委員

【受入学生数のまとめ】

長崎大学医学部 1 年生	H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度 ⁵	H21 年度 ⁵	H22 年度 ¹⁰	H23 年度 ¹⁰	H24 年度 ¹⁰	H25 年度 ¹⁰	H26 年度 ¹⁹	62
長崎大学医学部 2 年生					6	5	5	12	6	8	6	48
長崎大学医学部 3 年生							5	7	9	7	6	34
長崎大学医学部 4 年生						1						1
長崎大学医学部 5 年生	96	108	80	102	110	92	113	105	97	100	102	1,105
長崎大学医学部 6 年生		5	12	9	15	18	16	14	12	12	4	117
長崎大学薬学部				79	85	5	7	21	29	28	24	278
長崎大学歯学部 5・6 年生					5	41	62	47	53	44	18	270
他大学			9	15	32	29	11	22	24	38	18	198
家庭医療集中セミナー			31	26	33	26	30	14	22			182
地域医療セミナー IN GOTO										1	12	13
合 計	96	113	132	231	291	222	259	252	262	248	202	2,308

* 平成 25・26 年度の地域医療セミナー IN GOTO の参加者総数は、医学部 1 年生、2 年生、3 年生と家庭医療集中セミナー・地域医療セミナー IN GOTO の欄の合算となる。

* 平成 25・26 年度の家庭医療集中セミナー・地域医療セミナー IN GOTO の欄は学外からの参加者数である。

7. 教育関連講演会・研究会の開催と発表

1) 離島医療教育研究会・施設訪問

「離島医療・保健実習」をより充実したものとするため、長崎大学担当者と指導担当者、そして学生の意見交換の場として対馬市、五島市、新上五島町で離島医療教育研究会を開催した。この研究会・施設訪問ではレポートやアンケートからまとめた学生の意見を指導担当者に提示し、逆に指導担当者の学生や実習に対する意見を集約するとともに、地域医療教育に関する特別講演を行った。

日 時	開催場所	対 象	参加者数
平成 26 年 5 月 29 日	対馬いづはら病院	対馬市教育担当者	57 名
平成 27 年 2 月 10 日	五島中央病院	五島市教育担当者	54 名
平成 27 年 3 月 5 日	長崎県上五島病院	新上五島町教育担当者	51 名

・対馬離島医療教育研究会

演題：『福岡大学の医学教育について』

福岡大学 医学部教育計画部 教授 出石 宗仁先生

演題：『長崎純心大学医療・福祉連携センターにおける地域包括ケアの取り組み』

長崎純心大学 医療・福祉連携センター 准教授 宮野 澄男先生

演題：『長崎大学における地域包括ケア教育の展開－離島に学ぶ未来の医療－』

長崎大学 地域包括ケア教育センター 教授 永田康浩先生

・ 下五島離島医療教育研究会

演題：『教育効果からみた効果的な地域医療実習プログラムの提案』

神戸大学大学院 域医療教育学部門 教授 岡山雅信先生

・ 上五島離島医療教育研究会

演題：『地域の捉え方－離島での学生実習が医師になってどう役立つか－』

千葉大学 予防医学センター特任研究員 長嶺 由衣子 先生

演題：『離島医療実習の質をどう上げて行くか』

長崎県病院企業団 長崎県上五島病院 院長 八坂 貴宏先生

【学術・研究の領域】

1. 学術・研究活動

1) 学術論文・著書など (→添付資料参照)

- ① Sato S, Shimizu Y, Hayashida N, Nagayoshi M, Koyamatsu J, Yamanashi H, Kadota K, Nakazato M, Inoue K, Takamura N, Oozono Y, Maeda T. Associations of carotid atherosclerosis and hyperuricemia with height in relation to drinking status of rural Japanese men: The Nagasaki Islands study. *Acta Med Nagasaki* 59(3), 77-82, 2015
- ② Shimizu Y, Nakazato M, Sekita T, Kadota K, Miura Y, Arima K, Yamasaki H, Goto H, Takamura N, Aoyagi K, Maeda T. Height and drinking status in relation to risk of anemia in rural adult healthy Japanese men: the Nagasaki islands study. *Aging Male* 23 [Epub ahead of print], 2014
- ③ Shimizu Y, Sato S, Koyamatsu J, Yamanashi H, Nagayoshi M, Kadota K, Tamai M, Arima K, Yamasaki H, Kusano Y, Takamura N, Maeda T. Association between renal impairment and anemia in older, rural Japanese men: the Nagasaki Islands study. *J Physiol Anthropol* 33(1), 2014

doi: 10.1186/1880-6805-33-7.

- ④ Shimizu Y, Sato S, Koyamatsu J, Yamanashi H, Tamai M, Kadota K, Arima K, Yamasaki H, Takamura N, Aoyagi K, Maeda T. Subclinical carotid atherosclerosis and hyperuricemia in relation to renal impairment in a rural Japanese population: the Nagasaki Islands Study. *Atherosclerosis* 233(2), 525-529, 2014
doi: 10.1016/j.atherosclerosis.2014.01.033. Epub 2014 Jan 27.
- ⑤ Shimizu Y, Sato S, Koyamatsu J, Yamanashi H, Nagayoshi M, Kadota K, Maeda T. Association of chronic kidney disease and diabetes with triglycerides-to-HDL cholesterol ratio for a Japanese population: The Nagasaki Islands study. *Translational Med* 4, 1-4, 2014
- ⑥ Shimizu Y, Nakazato M, Sekita T, Kadota K, Sato S, Koyamatsu J, Arima K, Takamura N, Aoyagi K, Kusano Y, Maeda T. Associations between Body Height and Drinking Status with Diabetes in a Rural, Non-Overweight, Elderly, Japanese Male Population: The Nagasaki Islands Study. *J Diabetes Metabo* 5, 2014
- ⑦ Shimizu Y, Nakazato M, Sekita T, Kadota K, Sato S, Arima K, Takamura N, Aoyagi K, Kusano Y, Maeda T. Association between alkaline phosphatase and anemia in rural Japanese men: The Nagasaki study. *Acta Med Nagasaki* 58(4), 125-130, 2014
- ⑧ Shimizu Y, Sato S, Koyamatsu J, Yamasaki H, Tamai M, Kadota K, Arima K, Yamasaki H, Takamura N, Maeda T.: Positive association between CD34-positive cells and urinary sodium excretion in elderly Japanese: The Nagasaki islands Study. *J Gerontol Geriat Res* 3(2), 2014
- ⑨ Shimizu Y, Nakazato M, Sekita T, Koyamatsu J, Kadota K, Yamasaki H, Goto H, Takamura N, Aoyagi K, Maeda T. Association between hemoglobin and diabetes in relation to the triglyceride-to-HDL cholesterol ratio in Japanese individuals: The Nagasaki Islands study. *Intern med* 53(8), 837-843, 2014
- ⑩ Shimizu Y, Nakazato M, Sekita T, Kadota K, Arima K, Yamasaki H, Takamura N, Aoyagi K, Maeda T.: Association between the hemoglobin levels and hypertension in relation to the BMI status in a rural Japanese population: The Nagasaki Islands Study. *Internal Medicine* 53(5), p435-440, 2014
- ⑪ 猪熊孝実 長谷敦子 泉野浩生 山野修平 田島五郎 平尾朋仁 山下和範 山梨啓友 齊藤信夫 田崎修 悪寒戦慄を伴う高熱、全身性皮疹で来院した日本紅斑熱の1例 日臨救急医学会誌(JJSEM) Vol17, No.3, 481-85, 2014

⑫ 「へき地医療」長崎市医師会報 Vol.49 No.3 (第577号), 2015年3月号

2) 学会発表、講演活動 (シンポジウム、パネルディスカッション、フォーラムを含む)

【学会発表】

- ① 「形質細胞様樹状細胞における MHC class II 発現抑制因子 CIITA の転写調節に対する PU.1 の役割 The role of PU.1 in the transcription of CIITA that is essential for MHC class II in plasmacytoid dendritic cells」三浦亮介、笠倉和巳、中野信浩、前田隆浩、八代拓也、西山千春、日本農芸化学会 2015 年度大会、2015 年 3 月 28 日、ホテルグランヴィア岡山、岡山大学津島キャンパス
- ② 「PU.1 は形質細胞様樹状細胞において、CIITA 第 3 プロモーター制御を介して MHC class II 発現に寄与する」三浦亮介、笠倉和巳、中野信浩、前田隆浩、八代拓也、西山千春、第 37 回日本分子生物学会、2014 年 11 月 27 日、パシフィコ横浜
- ③ 「アルカリフォスファターゼと末梢血 CD34 陽性細胞との関係-The Nagasaki Island Study-」小屋松淳、清水悠路、永吉真子、玉井慎美、有馬和彦、青柳潔、前田隆浩、第 73 回日本公衆衛生学会、2014 年 11 月 7 日、栃木県総合文化センター特別会議室
- ④ 「高齢非肥満男性における身長と糖尿病の関係~The Nagasaki Island Study~」清水悠路、小屋松淳、永吉真子、玉井慎美、有馬和彦、青柳潔、前田隆浩、第 73 回日本公衆衛生学会、2014 年 11 月 6 日、栃木県総合文化センター第 2 会議室
- ⑤ 「離島地域における受動喫煙と末梢動脈硬化との関連」永吉真子、清水悠路、小屋松淳、山梨啓友、玉井慎美、有馬和彦、青柳潔、前田隆浩、第 73 回日本公衆衛生学会、2014 年 11 月 5 日、宇都宮東武ホテルグランデ松柏
- ⑥ 「TG-HDL 比で分類した糖尿病と慢性腎臓病 (CKD) との関係」清水悠路、佐藤晋平、永吉真子、門田耕一郎、小屋松淳、山梨啓友、有馬和彦、青柳潔、前田隆浩、日本生理人類学会第 71 回大会、2014 年 11 月 2 日、神戸大学六甲台キャンパス百年記念館 2 階六甲ホール
- ⑦ 「離島医療保健実習における学生の意識変化について~実習前後の学生アンケート結果を通して~」小屋松淳、山梨啓友、門田耕一郎、清水悠路、永吉真子、大園恵幸、青柳潔、前田隆浩、和歌山県立医科大学紀三井寺キャンパス第 6 会場 (高度医療人育成センター5 階中研修室、第 46 回日本医学教育学会
2014 年 7 月 18 日
- ⑧ 「ヘルスプロモーション実習が参加住民の健康改善に及ぼす効果についての検討」門田耕一郎、清水悠路、永吉真子、山梨啓友、小屋松淳、出口法隆、塚本和弘、齋藤俊行、青柳潔、大園恵幸、前田隆浩、和歌山県立医科大学紀三井寺キャン

ンパス第 6 会場（高度医療人育成センター5 階中研修室、
第 46 回 日本医学教育学会 2014 年 7 月 18 日

- ⑨ 「離島住民を対象にした TG-HDL 比で分類した糖尿病とヘモグロビン値との関係」
清水悠路、門田耕一郎、小屋松淳、山梨啓友、有馬和彦、山崎浩則、高村昇、青
柳潔、前田隆浩、第 70 回日本生理人類学会、2014 年 6 月 21 日、九州大学大橋キ
ャンパス A 会場（多次元デザイン実験棟 1 階実験ホール）

【シンポジウム、パネルディスカッション、講演会など】

- ① 「五島市調剤情報共有システムについて」前田隆浩、五島医師会三木会、五島医
師会会議室、2015 年 2 月 12 日
- ② Lecture:地域医療教育に対する提言「地域と大学が連携した新しい地域医療教育
～地域との本格連携を目指して～」前田隆浩、第 7 回ジェネラリスト教育コンソ
ーシアム 地域医療教育イノベーション、神戸大学医学部附属地域医療活性化セ
ンター3 階、2014 年 12 月 13 日
- ③ テキストマイニングに関する研究会での講演「医療分野におけるテキストマイニ
ングの可能性 –長崎大学医学部学外地域医療実習を含めて–」前田隆浩、長崎純
心大学医療・福祉連携センター、2014 年 12 月 12 日
- ④ ざっくばらん家庭医療ワークショップ講演「長崎県の地域医療」前田隆浩、主催
（長崎大学医学部学生有志、日本プライマリ・ケア連合学会学生・研修医部会九
州・沖縄支部）、共催（日本プライマリ・ケア連合学会 80 大学行脚プロジェクト）、
山崎愛子（企画）、丸山淳也（岡山奈義ファミリークリニック）、加藤光樹（豊泉
会家庭医療センター）、福井慶太郎（豊泉会家庭医療センター）、永田康浩、前田
隆浩、長崎大学医学部基礎研究棟 1 階セミナー室、2014 年 11 月 29 日
- ⑤ 「第 2 回長崎地域医療セミナーIN GOTO 地域包括ケアを知識から行動へ～ワ
ークショップをきっかけに～」出雲幸奈、加藤小百合、上原裕規、松島俊樹、岩
田真里亜、戸口四郎、荒倉由佳、内田直子、林はるか、小屋松淳、門田耕一郎、
山梨啓友、清水悠路、奥村あすか、吉田麻衣、宮野澄男、潮谷有二、永田康浩、
前田隆浩、第 3 回全国シンポジウム「日本の国情・2 次医療圏の実情を熟考して、
理想的医師・医療者育成教育の展開を考える 2014」、秋田キャッスルホテル 4 回
矢留の間、2014 年 11 月 15 日
- ⑥ 「第 2 回長崎地域医療セミナーIN GOTO 島を訪ね、多職種の卵たちと学んだ 2
泊 3 日～セミナー概要～」戸口四郎、内田直子、林はるか、出雲幸奈、岩田真里
亜、加藤小百合、上原裕規、荒倉由佳、松島俊樹、小屋松淳、門田耕一郎、山梨
啓友、清水悠路、奥村あすか、吉田麻衣、宮野澄男、潮谷有二、永田康浩、前田
隆浩、第 3 回全国シンポジウム「日本の国情・2 次医療圏の実情を熟考して、理
想的医師・医療者育成教育の展開を考える 2014」、秋田キャッスルホテル 4 回矢

留の間、2014年11月15日

- ⑦ 「地域と大学が連携した新しい医療教育の展開」前田隆浩、リハビリテーション・ケア合同研究大会長崎2014、特別企画3「地域包括ケアを支える地域医療（シンポジウム）、長崎ブリックホール国際会議場（第2会場）、2014年11月7日
- ⑧ 「地域と大学が連携した新しい地域医療教育～地域との本格連携を目指して～」前田隆浩、第5回泉州地域医療フォーラム特別講演、スターゲイトホテル関西エアポート6階「アクアマリン」、2014年10月4日
- ⑨ 地域医療フォーラム2014「地域医療の未来への展開～多様な取り組みを共有し発展させる～」、全体会Ⅱでの発表「鹿児島県の事例について」、秋葉原ダイビル、2014年9月14日
- ⑩ 医新伝習所講演会、「地域で医師を育てる～大学と地域の本格連携を目指して～」前田隆浩、長崎リハビリ病院、2014年7月24日
- ⑪ 平成26年度対馬地区離島医療教育研究会、①前田隆浩「開会挨拶および医療における最近の話題について」、②小屋松淳「実習記録およびアンケート結果の報告」、③出石宗仁「福岡大学の医学教育について」、④宮野澄男「長崎純心大学医療・福祉連携センターにおける地域包括ケアへの取り組み」、⑤永田康浩「長崎大学における地域包括ケア教育の展開-離島に学ぶ未来の医療-」、対馬いづはら病院2階大会議室、2014年5月29日
- ⑫ 第52回医療教育セミナーとワークショップ in 秋田 WS-3「プライマリ・ケア、地域医療のネクストステージ」、①前田隆浩「プライマリ・ケア、地域医療教育を取り巻く背景」、②井口清太郎先生（新潟大学総合地域医療学講座教授）「超高齢社会を見据えた医学教育」、坂上祐樹（宮崎市健康管理部、厚生労働省）「専門医制度改革と総合診療医に望むこと」、秋田大学医学系研究棟2階講義室1、2014年5月24日

【講義】

- ①4年生講義「地域保健」離島医療、長崎大学病院臨床講義棟1階第3講義室
2015年1月5日(前田 隆浩)
- ②2014年度教養教育「教養教育全学モジュールⅡ」
科目名「心身の健康と生命（老化と死）」講義「高齢化社会と地域医療」
長崎大学文教キャンパスA-12教室、2014年11月10日（前田 隆浩）
- ③長崎大学医学部保健学科講義「離島の暮らしと保健医療」、保健学科1階講義室
2014年10月6日（前田 隆浩）
- ④医学部1年生学部モジュール科目「医学は長崎から」の講義
「離島の医療～離島医療の歴史と現状、ウイルス学的にみた島の住民～」
文教キャンパス教養G棟（G-38）、2014年7月4日

⑤長崎大学歯学部 4 年生講義 (離島歯科医学)、「離島医療」、長崎大学歯学部
2014 年 5 月 30 日

【座 長】

- ① 長崎大学地域包括ケア教育センターシンポジウム、未来医療研究人材養成拠点形成事業「リサーチマインドを持った総合診療医の養成」、つなぐ医療を育む先導的教育研究拠点の構築 -人と人、場と場、ケアとリサーチをつなぐ総合診療医の養成 -、「長崎が目指す未来の地域包括ケアの姿」、特別講演 I：西川宜宏 (厚生労働省医政局地域医療計画課課長補佐)「2025 年に向けた医療提供体制の構築について」の座長、メルカつきまち長崎市市民生活プラザホール、2015 年 2 月 7 日
- ② 第 3 回全国シンポジウム「日本の国情・2 次医療圏の実情を熟考して、理想的医師・医療者育成教育の展開を考える 2014」、基調講演 3「21 世紀型社会のケアと医学教育・・・疾病転換とケアサイクル論からの提案」長谷川敏彦 (文部科学省科学技術・学術政策研究所客員研究官) の座長を担当、秋田キャッスルホテル 4 回矢留の間、2014 年 11 月 15 日
- ③ 地域医療フォーラム 2014「地域医療の未来への展開～多様な取り組みを共有し発展させる～」、第 2 分科会「鹿児島県の事例をもとにした検討」の座長、秋葉原ダイビル、2014 年 9 月 14 日
- ④ 第 52 回医療教育セミナーとワークショップ in 秋田 WS-3「プライマリ・ケア、地域医療のネクストステージ」、①前田隆浩「プライマリ・ケア、地域医療教育を取り巻く背景」、②井口清太郎先生 (新潟大学総合地域医療学講座教授)「超高齢社会を見据えた医学教育」、坂上祐樹 (宮崎市健康管理部、厚生労働省)「専門医制度改革と総合診療医に望むこと」、秋田大学医学系研究棟 2 階講義室 1、2014 年 5 月 24 日

3) その他の発表 (→添付資料参照)

- ① 「飲酒と喫煙」人間科学の百科事典、日本生理人類学会編、丸善出版、2015 年 1 月 25 日、p456-458
- ② 「遺伝子とがん」人間科学の百科事典、日本生理人類学会編、丸善出版、2015 年 1 月 25 日、p43-44
- ③ 「予防医学の共同大学院構想も」長崎広報誌『C h o h o』 Vol. 51

4) 教育マニュアルの作成、教育法の開発、事業報告書 (→添付資料参照)

- ① 「長崎五島列島発 地域医療のすすめ 2014」
- ② 「平成 26 年度 離島医療・保健実習 医・歯・薬合同学習要項」

5) 研究費の獲得

- ① 日本学術振興協会 基盤研究 (B) (代表)
無症候期から発症までを連結させた動脈硬化のリスクと病態生理に関するコホート研究
- ② 日本学術振興協会 基盤研究 (C) (分担)
地域卒出身医師の進路に関するコホート研究
- ③ 厚生労働省 (難治性) (分担)
HTLV-1 関連希難治性疾患における臨床研究の全国展開と基盤整備

6) 講演活動など (→別紙【講演・講義など】参照)

7) 学術賞の授賞 (→別紙参照)

日本生理人類学会優秀論文賞“Association between alkaline phosphatase and hypertension in a rural Japanese population: The Nagasaki Islands study”
(2014 年 6 月 22 日)

8) 特許、実用新案等

特許権名称：新規ヒト形質細胞様樹状細胞株
出願年月日：2005 年 8 月
取得年月日：2012 年 6 月
番号：特願 2005-234389

9) 具体的活動内容

- ① 地域疫学研究
五島市の基本健康診査と連携して一般住民のデータとサンプル 1598 検体を収集し、生活習慣病 (動脈硬化を含む) に関連する因子の血中濃度や虚弱度、睡眠との関連を解析した。
 - 1) CD-34
 - 2) HGF
 - 3) Frailty Index for Japanese elderly (FI-J)
- ② 共同研究
主に五島市を研究フィールドとして医・歯・薬統合研究を展開している。歯学部との共同研究としては歯周病と動脈硬化に関連した研究を行った。

③ 医学教育研究

医学教育研究としては、長崎大学医学部 5 年生が抱く離島医療に対する意識調査を行い、この意識が「離島医療・保健実習」前後にどのような変化が生じるのかについて、平成 26 年度に引き続きアンケート調査を行った。

2. 医療活動

1) 医療

地域医療への貢献を目的として、下記の医療機関へ診療応援を行った。
長崎県五島中央病院、長崎県富江病院、五島市健康保険三井楽診療所

2) 基本健康診査

五島市が行う基本健康診査へ診察医として協力した。

【組織運営の領域】

1. 大学教育におけるカリキュラム作成とその実施に係る活動

1) 平成 26 年度「離島医療・保健実習」

医学部医学科 5 年生を対象とした地域医療と社会医学の統合実習

2) 平成 26 年度「離島医療・保健実習」

歯学部 6 年生を対象とした離島歯科医療と地域保健福祉実習

【社会貢献の領域】

1. 学会・委員会等の活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
前田隆浩・教授	五島地区肝炎対策委員会	五島保健所
前田隆浩・教授	長崎県油症対策委員会委員	長崎県
前田隆浩・教授	五島中央病院倫理委員会委員	長崎県五島中央病院
前田隆浩・教授	新型インフルエンザ対策協議会委員	五島保健所
前田隆浩・教授	五島保健所地域・職域連携推進協議会委員	五島保健所
前田隆浩・教授	医師試験委員	厚生労働省
前田隆浩・教授	医師国家試験出題基準改定部会委員	厚生労働省
前田隆浩・教授	五島市医療提供体制のあり方検討委員会委員	五島市
前田隆浩・教授	長崎県医師会医療政策・診療報酬等対策協議会委員	長崎県医師会
前田隆浩・教授	五島中央病院治験審査委員会委員	長崎県五島中央病院
前田隆浩・教授	五島中央病院群研修管理委員会	長崎県五島中央病院
前田隆浩・教授	評議員	日本生理人類学会
前田隆浩・教授	評議員	日本病院総合診療医学会
前田隆浩・教授	五島市保健対策推進協議会委員	五島市

前田隆浩・教授	五島市予防接種健康被害調査委員会委員	五島市
前田隆浩・教授	国民体育大会五島市実行委員会	五島市
前田隆浩・教授	長崎県保健医療対策協議会 離島医療部会委員	長崎県
前田隆浩・教授	五島地域住民参加型医療改善協議会委員	五島保健所
前田隆浩・教授	地域医療フォーラム実行委員会副院長	自治医科大学
前田隆浩・教授	へき地保健医療対策検討会委員	厚生労働省
前田隆浩・教授	日本プライマリ・ケア連合学会理事	日本プライマリ・ケア連合学会
前田隆浩・教授	日本プライマリ・ケア連合学会長崎県支部会副会長	日本プライマリ・ケア連合学会長崎県支部会
前田隆浩・教授	全国医学部長病院長会議地域胃腸検討委員会	全国医学部長病院長会議
前田隆浩・教授	日本医学教育学会地域医療・多職種連携教育委員会	日本医学教育学会
前田隆浩・教授	全国地域医療教育協議会代表世話人	全国地域医療教育協議会
前田隆浩・教授	都道府県へき地保健医療計画実行支援とその評価に関する研究委員	厚生労働省
前田隆浩・教授	ながさき健康・省エネ住宅推進協議会委員	ながさき健康・省エネ住宅推進協議会
前田隆浩・教授 山梨啓友・助教 小屋松淳・助教 (教室における社会活動)	五島市疾病対策研究会 (自治体と共同で、地域の疾病予防・健康増進を目的として H25 年 12 月から発足した「五島市疾病対策研究会」にメンバーとして参加している)	五島市健康政策課、五島市長寿介護課、長崎大学(地域医療学、予防医科学研究所、離島医療研究所、および、歯学部)、五島中央病院、地元医師会等

2. 非常勤講師

氏名・職	職(担当科目)	関係機関名
前田隆浩・教授	非常勤講師(地域医療学)	国立大学法人 徳島大学

3. 地域医療への貢献

(診療応援) 長崎県五島中央病院、長崎県富江病院、
五島市国民健康保険三井楽診療所

【広報活動など】 別紙参照

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
山梨啓友・助教	健康増進	長崎県五島保健所 ニュース	平成 26 年 7 月	癌発症リスクについての概説を行なった。